

ニッスイの優良系統・ノウハウ活用の取組状況

日本水産株式会社
養殖事業推進部 鶴岡 比呂志

ニッスイグループ養殖関連 会社・養殖場マップ



FIVE STAR
チリ・パタゴニア地方
サーモントラウト
氷河の峡湾が育てた日本の品質

チリの技術者と日本駐在員が徹底管理した高品質なサーモンをお客様へ

おかげさまで30周年!!



- 対馬
- 壱岐市(石田・郷ノ浦)
- 松浦市鷹島
- 五島
- 佐世保市
- 黒島
- 天草市牛深
- 甞島(薩摩川内市)
- 鹿児島市喜入
- 南さつま市笠沙
- 南さつま市坊津
- 南九州市穎娃町
- 佐伯市上浦
- 大分海洋研究センター
- 延岡市
- 串間市
- 内之浦(肝属郡肝付町)



- 鮭鱒
- まぐろ
- かんぱち
- ぶり
- さば
- えび

「ぶり」の取り組み事例

ニッスイぶり育種

2005年～
天然ぶり採卵



2010年～
育種プログラム開始
統計遺伝による評価
家系図により管理

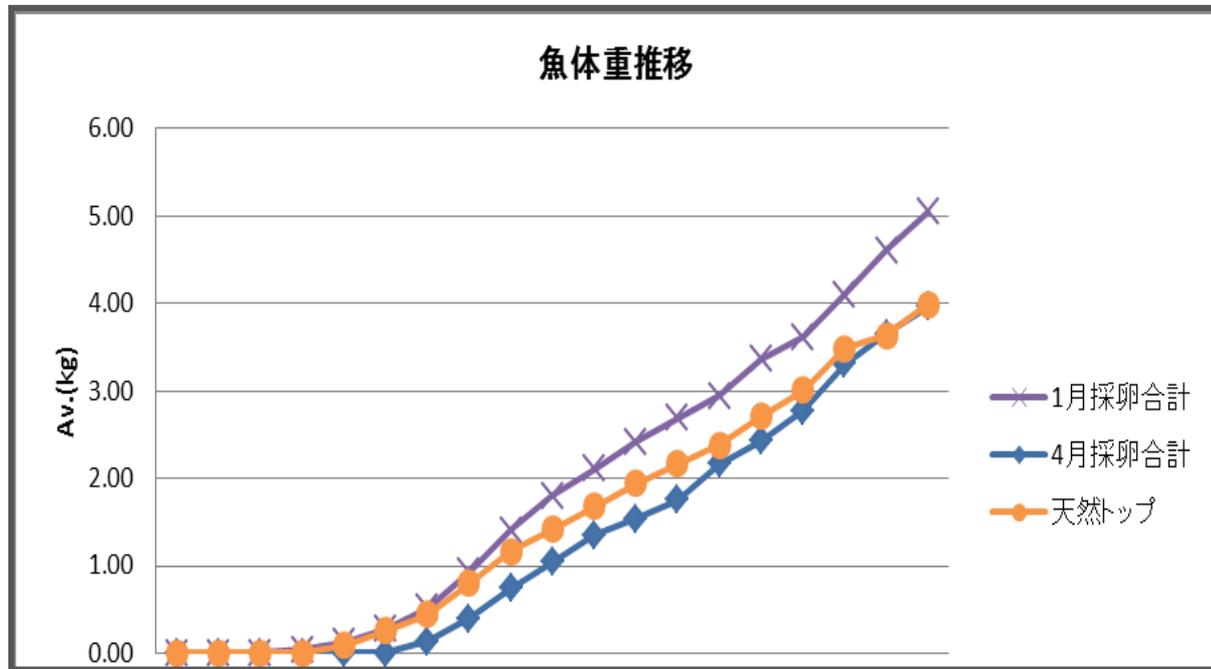


2014年～
完全養殖世代出荷



2019年～
成長性向上
体重25%以上改善

黒瀬若ぶりの成長データ



ぶり人工種苗は育種により高成長化

1-1. これまでの優良系統に関する取組について

➤ 優良系統の利用の目的・動機・背景

- 目的： 事業競争力の向上
- 動機： 生産性及び品質などの向上
- 背景： 当社の主要戦略として「養殖事業の高度化」を掲げ、その中の主要な技術戦略の一つとして位置付け取組みを推進中。

➤ 優良系統の対象魚種(国内)

- ぶり ⇒ 自社での取組み
- サーモン ⇒ 自社での取組み、他者が育種をしたものを利用
- カンパチ ⇒ 自社での取組み

➤ 優良系統の利用方法

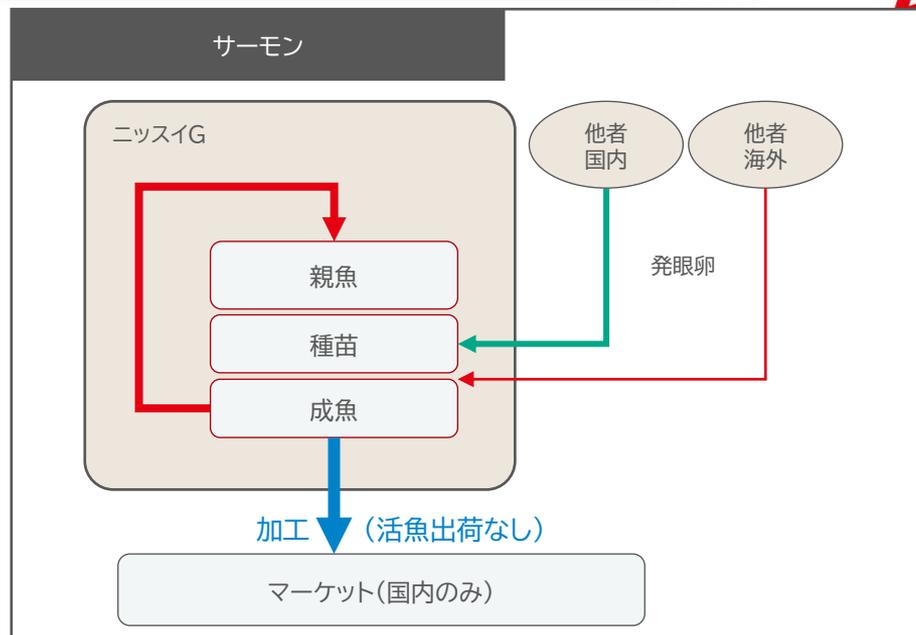
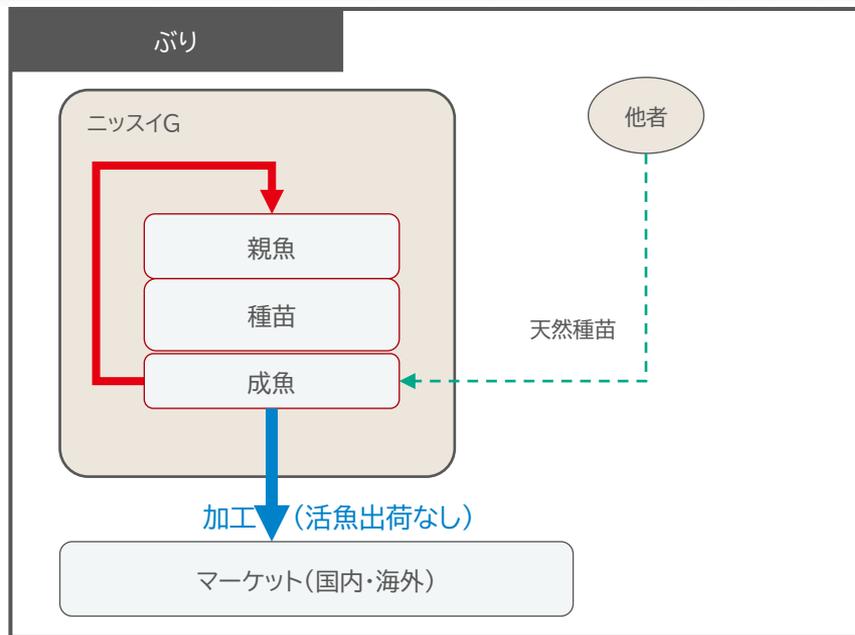
- 自社での生産目的

1-2. 優良系統の利活用上の課題



- 優良系統の作出の課題(技術面以外)
 - 個体の流出防止対策が難しい。
 - コスト(時間・費用)が掛かる。
- 優良系統の外部への提供/導入上の課題
 - 他者(外部)への提供はしていない。
 - 他者(特に国内)から種苗・親魚・活魚を導入する場合、利用制限を求められる事は少ない。
- これまでのトラブル等の例
 - 特になし。

1-4. 優良系統に関する取組の状況



今後の優良系統の活用

- 優良系統の利活用を拡大(更なるアップグレード、機能や魚種拡大など)していく。
- 自社での優良系統の取り組み推進していくが、他者の優良系統についても適切に活用していく。
- 成果に対する保護は必要であり、そのための具体的なルールや方策などについて話し合っていくことが重要。



まだ見ぬ、食の力を。